

共栄金型 株式会社

熟練技術と樹脂流動解析ソフトを 融合して効率的に金型を製作

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



最新の加工機械を揃える工場

主な事業内容

金型の設計・製造、プラスチック成形品の企画・開発・提案

主な取引先(納入先)

自動車部品、住宅設備、医療系製品、アミューズメント製品などの各メーカー

主な製品

金型および自動車部品、医療検査部品、水回り部品など

業務内容 給湯器などの樹脂部品 向け金型を手がける

共栄金型は、武藤卓光社長の父が昭和55年に設立した、射出成形用金型を設計・製造する専門メーカー。給湯器や温水洗浄便座、車載プラスチック部品のほか、アミューズメント関連商品など多様な分野の金型を取り扱う。また、自社で射出成形機を保有しており、試作品製作のほかプラスチック成形品の企画・開発・提案も独自で行う。

令和2年のコロナ禍以降は、EV(電気自動車)など新分野への進出をめざし、事業再構築補助金を活用して、最新鋭のマシニングセンタや鏡面仕上げのための研磨機、樹脂流動解析ソフト「Moldex3D」を導入した。

強み 海外製品の修理や 設計図面なしでの復元も

金型設計・製造は汎用樹脂からスーパーエンジニアのインサート部品向けまで幅広く対応している。また、他社製や海外製金型の修理のほか、図面がない古い金型の復元など同業他社が敬遠する依頼も積極的に引き受けている。

さらに、金型内の溶融プラスチックの流動特性を3次元で解析する樹脂流動解析ソフトを新たに導入。従来のよ

社長あいさつ



代表取締役
たかみつ
武藤 卓光さん

エビデンス(根拠と裏付け)にもとづくものづくりが会社の信用に直結するため、写真や動画なども活用し、顧客にはわかりやすく、かつ丁寧な説明を行っています。社内外を問わず、責任ある行動と言葉を重んじ、「初心を忘れず」の心を持って事業にまい進していきます。

主な保有設備

- 大型マシニングセンタ高速加工機 MILLAC761V オークマ製 1台
- 中型マシニングセンタ高速加工機 MILLAC438VDほか オークマ製 2台
- 射出成形機 ROBOSHOTα-100C ファナック製 1台
- ワイヤ放電加工機 MV2400S 三菱電機製 1台
- 樹脂流動解析ソフト Moldex3D 1台

大阪
06

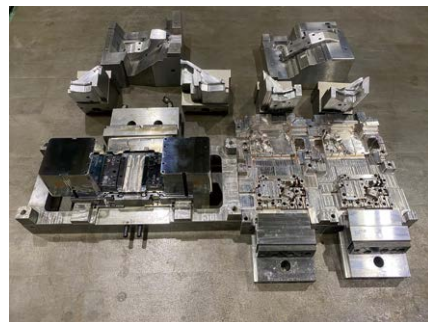
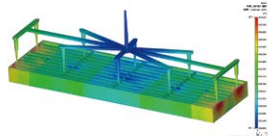
住 所 / 〒576-0017
交野市星田北
1-20-5
TEL / 072-892-8666
FAX / 072-892-5691
創 業 / 昭和55年4月
設 立 / 昭和55年4月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 4名

うに、試作を通じて歪みや変形などの不具合を確認して金型を修正するのはなく、ソフトウェア上でのシミュレーションにより金型製作前に不具合を解消できるようになった。これにより「コスト削減と納期短縮が実現できた」と武藤社長は胸を張る。

現在、従業員は4名。うち1名は女性で、元々は経理事務担当の正社員として雇用したが、武藤社長の後押しもあり、3次元CAD設計や樹脂流動解析のほか、切削加工や射出成形などの機械設備の操作も2年あまりで習得した。現場技術者としても多くの仕事をこなすまでになるなど、職種に縛られず、社員の可能性を広げる人材育成に取り組んでいる。

また、未経験者には公共職業訓練校でのCAD操作技術講座の受講など、同社がサポートしながら基礎から学ぶことを提案している。「入社後も従業員の希望を聞き、スキルアップや資格取得に向けた支援を継続して多能工を育てていきたい」。武藤社長は人材育成に向け、さらなる意気込みを見せる。今後も事業拡大に向け、設備増強のほか人員の増員も検討している。

人材育成 女性や若者を支援し 多能工集団をめざす



樹脂流動解析シミュレーションでの事前検証

様々な素材を同じ精度で加工



<https://www.kyoeikanagata.com/>